

西多摩医師会報

第210号 平成2年6月



塩船観音つつじ祭り (青梅市)

目 次

	頁		頁
1. 学術		8. 文芸随筆その他諸事百般	
開業医における肝胆膵病変の		水無月 小泉新策	17
診断とその限界 渡辺良友	2	9. 『医療協』開かる 大堀洋一	18
2. 西多摩医師会各部分掌図	6	10. ブロックだより	18
3. 理事会報告 広報部	8	11. クラブ紹介	18
4. お知らせ	9	12. 新入会員紹介	19
5. 3公立病院外来分担表	10	13. 医師会日誌	19
6. 新旧役員歓送迎会 田代 洋	14	14. 表紙の言葉	21
7. 福生病院登録医連絡会リポート		15. あとがきにかえて	21
道又正達	15		

開業医における肝胆膵病変の診断とその限界

キーワード 超音波診断、逆行性膵胆管造影、病診連携

福生市 渡辺良友

開業医における肝胆膵病変の診断には腹部症状の訴え、腫瘤触知、圧痛の有無などの触診、さらに血液検査による閉塞性黄疸の有無、白血球、GOT、GPT、ALP、アミラーゼ、エラスターゼ、等の上昇、 α -フェトプロテイン、CA19-9、等腫瘍マーカーの異常により超音波検査がなされ、以前より開業医レベルにおける診断能力は飛躍的に上昇しました。私はさらに一歩ふみ込み十二指腸ファイバースコープによる逆行性膵胆管造影を導入、その興味ある症例をここに提示したいと思います。

なお、この手技は胆道の完全閉塞を確認した場合、緊急ドレナージ手術を行わねばならず病院の大きい理解があって初めて行い得る手技である事を付け加えたいと思います。

(図1)

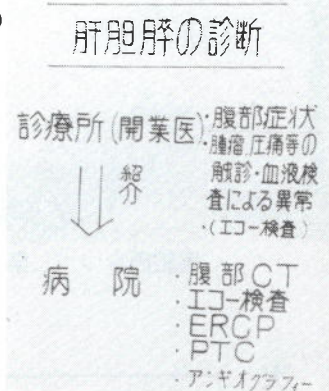


図1

それでは症例別に各疾患の診断の説明をしたいと思います。まず肝疾患ですが(図2)

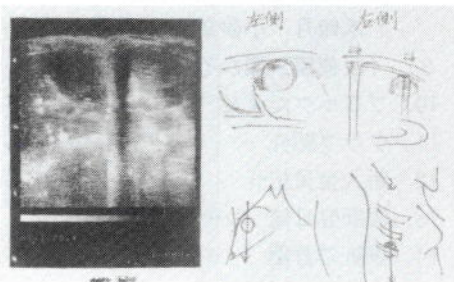


図2

は慢性肝炎、肝硬変の患者の経過観察中、エコー検査にて右葉上部にカプセルを持ったモザイク陰影を発見、肝臓痛を疑い、青梅総合病院の山川先生に血管造影を施行してもらいました。

(図3)の様にも右葉上部に腫瘍陰影があり、

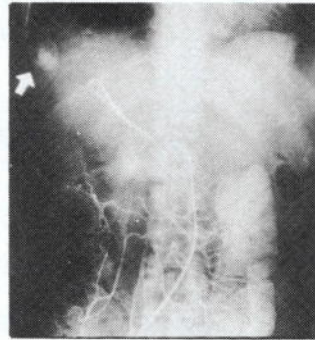


図3

さらに(図4)に見られるように造影剤使用のCTスキャンにて腫瘍陰影がはっきり見られます。そこで患者さんの希望で福生病院外科で肝右葉切除術を行う予定でしたが、残念ながら開腹時左葉にも小さな転移が判明したため切除は断念され、腫瘍に行く動脈を抗ガン剤を含んだ物質で閉塞してしまう

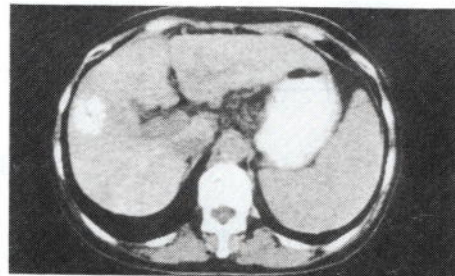


図4

塞栓術をしていただきました。残念ながらこの患者さんは2年後再発死しましたが、原発性肝臓はこの6年で5例あり、発見1例目は秋川の患者さんですが、北里大学病院にて左葉切除を受け、5年生存後、現在も健在です。

次に(図5)はシャルコー(Charcot)3徴

(発熱、腹痛、黄疸)にさらに敗血症によるショックに意識障害を伴うレイノルズ

(Raynolds) 5徴を示した症例でエコー検査でシェーマで示したように左葉に大きな膿瘍があり、その下部にビリルビン結石が見られます。肝内結石より肝膿瘍を併発、敗血症をおこしている状態と判断してすぐに福生病院にて膿瘍部のドレナージ手術を受け一命をとりとめました。

その後開腹手術を受け肝内結石の除去、左葉切除を受け完治した症例です。

次は胆道疾患の症例ですが(図6)は十二指腸乳頭部にファイバースコープからカニューレーションを行い逆行性に膵管と胆管に造影剤を注入して腫瘍や結石がないかを検査を行っている時の写真です。

この操作を略してERCPと言いますが(図7)のように操作中、十二指腸乳頭部周囲に良くケイ室が見つかります。

図7の乳頭より造影したERCPが(図8)ですが、総胆管内と胆嚢内に結石が見られます。あまりにケイ室を合併した結石が多いのでケイ室が乳頭部に影響し胆汁のうっ帯をおこし、結石が出来るメカニズムがあるのではと疑い、肝胆膵疾患の専門の防衛大の杉浦芳章先生と栃木がんセンターの尾形佳郎先生にうかがったところ、「そのようなメカニズムは無いと思う。むしろ乳頭部周囲のケイ室が高い頻度であるという事ではないか。ただしケイ室内に乳頭部がある場合は結石が出来る事が有りうる」との一致した意見でした。

(図9)はシャルコー3徴を示した患者のエコー写真です。胆嚢内の結石が見られる他、肝内胆管の拡大が著明で胆嚢内結石だけでは説明出来ないのでERCPを行いました。

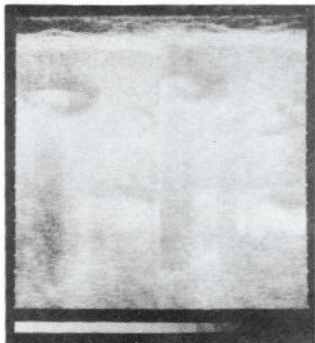


図9

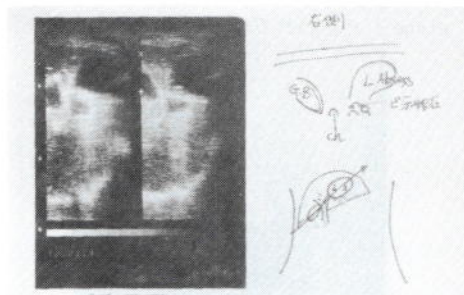


図5

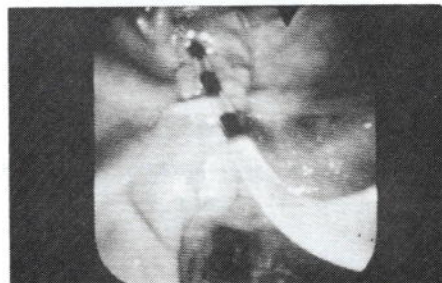


図6



図7

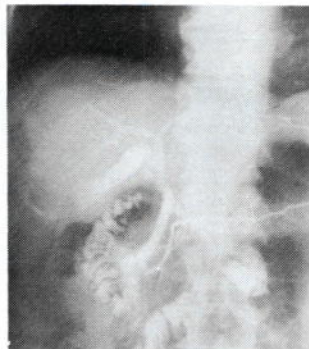


図8

(図10)がそのERCPです。胆嚢管が異常に太く、総胆管内に結石が見られますが、黄疸はその結石の為ではなく、さらに肝に近い三管合流部に嵌頓した結石により、黄疸が強まっている事が判明しました。胆嚢内に見られた結石は、同様に胆嚢管に嵌頓していますが、一番の問題は三管合流部結石で激しい臨床症状を表し、合流部結石(Confluence

(4)

stone)とされています。

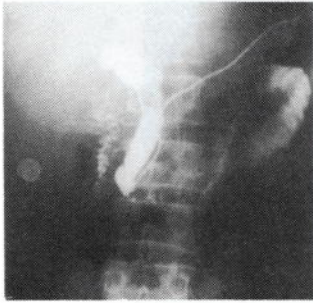


図10

(図11)は逆に総胆管、膵管の合流部に嵌頓した結石でこのERCPに見られるように総胆管の拡大の他、膵管の拡大が見られOpieの膵炎と言われ、胆汁が膵管内に逆流して激しい膵炎をおこしています。



図11

(図12)はやせた女性ですが体位によって、胆嚢が反対側まで動いています。これは胆嚢が肝下面に十分付いておらず、ブラブラした状態にあり、胆嚢の捻転をおこし右季肋部痛をおこすと考えられました。

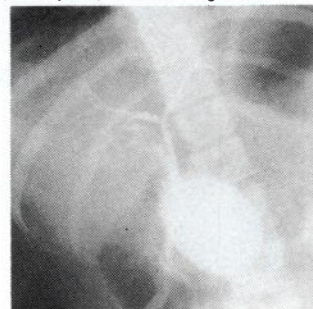


図12

(図13)は通常の胆嚢写真のようですが、エコー検査で見ると、まるで胆嚢の中にポリープがあるように見えたのです。エコー検査の専門医は全例のうち10%に胆嚢ポリープがあると書いていますが、どうもこのような彎曲部をポリープととらえているのではないかと思われるふしがあります。外科医は実際に

切除して胆嚢ポリープはそんなにない事は経験上知っています。

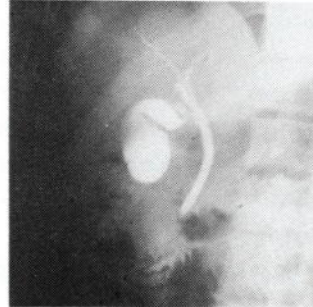


図13

(図14)はその珍らしい胆嚢ポリープですが、ERCPでは、はっきり形態が異なります。

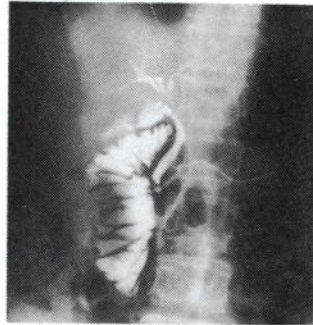


図14

最後に膵疾患の症例ですが(図15)は強い腹痛を訴えて来院された患者ですが、エコー検査で腫大した膵臓と結石像が見られたために、慢性膵炎急性増悪期と膵石症の合併と診断しました。治療後2ヶ月しておそろおそろERCPを行いましたら、(図16)のように膵管内に念珠状に結石が見られ、その先は全く石だけで膵尾部だけがエビのシッポの様に造影されています。

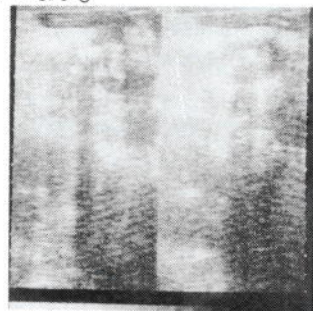


図15

(図17)は膵癌の疑いでERCPを行った例ですが、膵管の狭窄とともに造影剤のバブルと思われぬ透亮像が見られます。この症例



図16

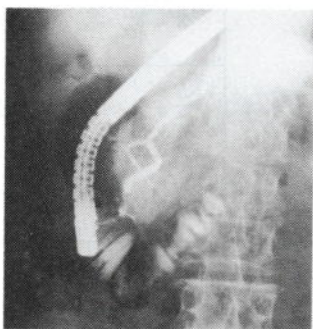


図17

で専門医の御意見をうかがったところ、防衛大の杉浦先生は慢性膵炎で狭窄部は椎体の圧迫によるものと判断されたのに対し、栃木がんセンターの尾形先生は膵癌が疑われるので同部分の病理検査をすべきであると意見が割れました。結果は残念ながら患者の同意が得られず不明の状態です。

(図18)は膵癌を疑いERCPを行ったところ膵管が途中で断たれ教科書的な膵癌像が見られました。しかしよく見ると造影剤の圧が少したりない上、副乳頭から出る副膵管が太く造影され、造影剤が副乳頭より十二指腸に排出されている部分が見られ膵管末端まで十分に造影剤が入り込んではいないのではないかと考えられました。



図18

(5)

再度こんどはもっと圧力をかけて造影したところ(図19)のように膵管はきれいに出て来ました。この例でERCPの難しさを痛感させられました。またERCPを行う十二指腸ファイバースコープは側視鏡なので胃内も視野がよく(図20)はERCP中胃内で偶然発見したⅡC+Ⅲ早期胃癌の写真です。

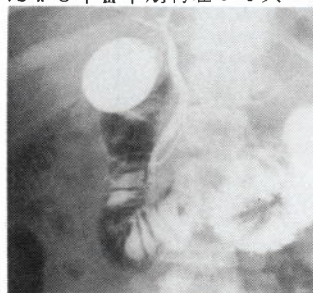


図19

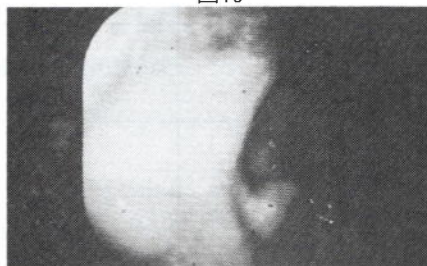


図20

以上(図21)に少しまとめを書いてみましたが、肝胆膵の診断には画像診断がやはりきめ手で、肝胆膵病変は急速に敗血症に移行する例が多く病診連携が必要で、特に病院側の大なるfollowがあって出来る事と思います。

これは平成2年3月24日多摩慶応外科学会において発表した要約ですが、執筆にあたり福生病院外科、諸君強英先生、辛悦基副院長始め外科スタッフ、青梅総合病院、山川淳二先生の御協力に感謝いたします。

まとめ

- 1 ERCPは、肝胆膵病変の診断に有効な手段であるが、診療所で行う場合病院との密接な関係、病診連携を必要とする手段であり、病院側のfollowがあって可能となる。
- 2 背疼痛を主訴とする患者は、筋性のものが多いが膵癌等の重大病変もあるから疑しきはエコーないしはERCPを行うべきである。
- 3 診療所においても十二指腸ファイバー等の側視鏡は、ERCPの他、十二指腸乳頭部、膵内病変の画像の鮮明度及び視野の良さ、生検の確実さでは是非揃えておきたい診療器械と考えられる。

図21

西 多 摩 医 師

()内 担当副会長 ◎印 担当部長 ○印 委員長

		部 名	担 当 理 事	委 員 会 名
副会長 松原貞一 会長代行 会長 西村邦康 副会長 足立卓三		総務部 (松原)	◎林 実・大嶽栄二	医事紛争処理委員会 地域医療委員会 救急・休日診療委員会
		広報部 (松原)	◎真鍋 勉・田代 洋・道又正達	会報編集委員会
		学術部 (足立)	◎宮川栄次・稲垣壮太郎・木村 隆	学術部委員会
		保険部 (足立)	◎高木 直・唐橋善雄・田代 洋	社保指導整備委員会 国保指導整備委員会
		福祉部 (足立)	◎進藤 淳・明田川修生・大嶽栄二	福祉部委員会
		公衆衛生部 (松原)	◎大堀洋一・明田川修生・林 実	公衆衛生部委員会
		学校医部 (松原)	◎道又正達・唐橋善雄・木村 隆	学校医部委員会
		産業医部 (足立)	◎唐橋善雄・高木 直・野村有信	産業医部委員会
		経理部 (松原)	◎大嶽栄二・稲垣壮太郎・進藤 淳	
	西多摩地区医療保健衛生協議会 「医療協」		○松原貞一・明田川修生・足立卓三・大嶽栄二・大堀洋一・川辺隆道・	

会 各 部 分 掌 図

(平成2年5月10日現在)

委 員 氏 名

(南部) 進藤 淳・鈴木 修 (東京) 松原貞一・堤 次雄 (西部) 足立卓三・小沢昌彦

植田 稔・川辺隆道・大塚宜夫・栗原琢磨・小林康光・佐々木章・東 吉男・鈴木 修・村山正昭
吉野住雄宮川栄次・石井好明・木村 隆・清水専三郎・高木 直・中村 武・萩森正紀・波田野洋夫・山口太平
横田卓史・横田 博○ 真鍋 勉・石井好明・小机敏昭・小林杏一・田代 洋・玉木一弘・堀田洋夫・道又正達・百瀬真一郎
渡辺良友○ 宮川栄次・稲垣壮太郎・大堀洋一・木村 隆・佐々木章・坂本保巳・鈴木 修・田代 洋・玉木一弘
野本正嗣・東 吉男・平沼 俊・真鍋 勉・村山正昭・諸角強英・渡辺良友○ 唐橋善雄・石田信彦・馬詰良比古・大堀洋一・奥野 仁・奥野広子・小机敏昭・込田茂夫・島田芳明
鈴木 稔・瀬戸岡俊一郎・高水松夫・田代 料・田中穂積・玉木一弘・野本正嗣・葉山 侃・山口岱三
山口太平・横田 博○ 高木 直・秋山静夫・荒巻武彦・川口卓治・木野村幸彦・木村 隆・栗原琢磨・小林杏一・斎藤信幸
笹本隆夫・鈴木民子・鈴木 丹・館野 進・西谷清美・東 吉男・真鍋 勉・道又正達・百瀬真一郎
山田英敬・米谷豊光・渡辺良友

○ 進藤 淳・明田川修生・井上勇之助・大嶽栄二・奥野 仁・栗原琢磨・野本正嗣・宮川栄次

○ 大堀洋一・秋山静夫・明田川修生・荒巻武彦・川辺隆道・笹本隆夫・玉木一弘・野本正嗣・林 実
横田 博・渡辺良友○ 道又正達・内田萬次・馬詰良比古・奥野広子・唐橋善雄・川辺隆道・木村 隆・栗原琢磨・瀬戸岡俊一郎
東 吉男・百瀬真一郎・山田 登・湯川文朗・横田 博・吉野住雄

○ 唐橋善雄・井村進一・高木 直・野村有信・森 和胤

田代 洋・林 実・湯川文朗

理事会報告

4月定例理事会

平成2年4月24日(火) 7:30 P.M

西多摩医師会館講堂

議事録署名人名人 { 唐橋理事
木村理事

議題

1 報告事項

(1) 都医地区医師会長協議会報告

西村会長

① 東京都リハビリテーション病院について

東京都が建設設置し、職員は全員都職員、一次開設は平成2年5月、全面開設は、平成3年5月の予定、所在地は墨田区。紹介予約制。

② 医師と歩こうチャリティーウォークについて

第2回は4月29日「みどりの日」

③ 協議事項は無し

④ 地区医師会からの報告

町田、調布医師会より、在宅難病患者訪問診療事原に関し、多摩地区では専門医の不足問題、難病を神経内科に限定せず、60余ある対象疾患を取り上げることにより、広く専門医の参加が得られるのではないかと、等の意見があった。

⑤ その他

西村会長より在宅悪性腫瘍指導管理やねたきり患者処置指導管理について都の対応が解ず、都医師会ももっと便宜を計るべきと提案。

(2) 三多摩地区庶務担当理事連絡会報告

林理事

① 北多摩医師会

雇入れ時の健康診断及び定期健診断の診断内容とその料金について

② 久留米医師会

東京都による法人監査について

③ 八王子医師会

接骨師と医師との業務における関連コンタクト処方についても同様の注

意あり。

④ 休日救急の手当に対して

⑤ 4月20日の臨時代議員会における補欠選挙について西村会長より追加発言あり。

2 報告承認事項

林理事

(1) 入会会員について — 承認 —

3 協議事項

(1) 各部委員会委員の任命について

松原副会長

各部長から選出理由を説明

追加変更については次回までに林理事に報告。又地域医療委員会の担当理事は林先生 — 承認 —

(2) ファックスの設置について 足立副会長
取り合えず役員全員に 一率 30,000円
ファックス設置のため3年リースの補助金を出す。又専用回線の設置については各自の判断に任せる。 — 承認 —

(3) 定款改正委員会設置について

松原副会長

定款及び施行細則の一部に現状との間にギップが生じて来ている問題につき細部に渡り説明を行い、再度委員会の設置を必要とするのではないかと意見。

— 承認 —

(4) その他 西村会長より

地区会長が理事でない方と役員と年に3~4回、フリートーキングの場を作りたい。 — 承認 —

大嶽理事より

広報の理事会報告は現担当理事(道又、真鍋、田代)3名に大嶽先生を加え4名交代で行う。 — 承認 —

5月定例理事会

平成2年5月8日(火) 7:30 P.M

西多摩医師会館講堂

議事録署名人名人 { 道又理事
宮川理事

議題

1 報告事項

(1) 東京都医師会第199回(臨時)代議員会報告 西村会長

- 2 報告承認事項 林 理事
- (1) 入会会員について — 承認 —
- (2) 奥多摩町立古里小・中学校の変更について
奥多摩病院 広瀬淳一郎先生より、古里診療所 藤巻延吉先生に変更の件
— 承認 —
- (3) 各部委員の追加の件 — 承認 —
- 3 協議事項
- (1) 平成元年度収支計算につき承認を求め
る件(付監事の監査報告) 大嶽理事
— 承認 —

— 医政連 —

- 1) 平成元年度事業報告 松原委員
- 2) 平成元年度収支計算につき承認を
求める件で、大嶽会計担当より、まず、西多摩
医師政治連盟会計収支計算書が次いで
東京都医師政治連盟西多摩支部会計収支
計算書が報告された。

訂正

平成2年5月号(No.209)3頁上より9段
目 近藤肇会員を→近藤肇監事に訂正
(大嶽)



お 知 ら せ

7月(6月診療分)の
保険請求書類提出日
7月 7日(土)
— 正 午 迄です —

原稿×切りは毎月20日です
よろしく御協力の程
お願い致します
(会報編集委員会)

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2
水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談下さい。

- ◎ 相 談 日 6月は 13日(水)
 - ◎ 7月は 11日(水)の予定です。
 - ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
 - ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、刑事
に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎ 相 談 料 無 料(但し相談を煙える場合は別途)
 - ◎ 申 込 方 法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注)先生の都合で相談日を変更することもあります。

青梅市立総合病院外来診察分担表

平成2年5月現在

診療科	月	火	水	木	金	土	備考	
⑥内科 331 332	柏木	柏木	桜井	柏木	桜井	交代	リウマチ：桜井 膠原病：橋本 呼吸器：柏木 血液：栗山 腎臓：立花 内分泌：原	
	栗山	橋	立花	原	栗山			
	原	齋藤(赴)	飯塚	立花	原			
		日下	入江		橋			
⑦消化器科	〃	藤木	高清水		藤木			
⑦循環器科	〃	坂本・金沢		坂本・金沢				
⑧外科 330	石井	山川	宇田	宇田	山田	石井 森田 藤田 (交代)		
	山田	下山	藤田	森田	山川			
⑧胸部外科	330		宇田	宇田・森田				
⑩脳神経外科	329	鬼頭	宮崎	埼玉医大 外科医局	鬼頭	宮崎	森(交代 月1回)	
⑪整形外科 328	武井	武井	渡部	五十嵐	五十嵐	交代		
	山田	五十嵐	武井	山田	渡部			
婦人科 325 (334) 326	妊婦	高野	内田・酒井	南野	富永	菅原	交代	
	婦人科	内田	富永	内田	高野	高野		
		富永	南野	林	林	南野		
		林	菅原	酒井	菅原	酒井		
		菅原	柳沢	菅原	招へい医			
招へい医								
⑫皮膚科	355	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	斎藤	(佐々木)	
⑬泌尿器科	351	友石	小沢 佐々木 (交代)	小山	友石	足立	交代	
⑭小児科 327		林	林	林	崔	林	交代	
		崔	星川	崔	星川	崔		
		星川	長野	長野	長野	星川		
		長野	三原	三原		三原		
⑮眼科	353	矢野・山崎	矢野・山崎	山崎	矢野・山崎	山崎	交代	
⑯耳鼻咽喉科	352	宮城	宮城	宮城	宮城	村主	(宮城)	
⑰神経科 354	新患	瀧川	浜野	山本	三浦	中野	交代	
	再来	中野 (午後 予約制)	山本 中野	杉本 瀧川	山本 (予約制)	瀧川		
○放射線科	322	(佐藤)	(佐藤)	(佐藤)		(佐藤)	(佐藤)	
⑱理学診療科	219	鈴木	鈴木	鈴木		鈴木	(鈴木)	
⑳口腔外科	350		小林		高久	小沢		

平成2年度新任部長および新設科

青梅市立総合病院

栗山廉二郎部長 所属 腎センター
 2年4月、副部長より昇任しました。透析は30床につき日2回転でフル稼働。
 各種腎疾患の診断治療を専門とします。
 佐藤史郎部長 所属 放射線科
 2年4月、甲斐原前部長の後任として就任

しました。血管造影法、RI, CT, MRI の画像診断はじめ放射線治療を担当、特に消化器系が専門です。
 原義人部長 所属 内分泌代謝科 新設。
 2年4月、新任。甲状腺疾患が専門ですが、患者数の圧倒的に多い糖尿病を中心に内分泌疾患を担当します。

専門外来分担表

平成2年5月現在

曜日 診療科	月 (午後)	火 (午後)	水 (午後)	木 (午後)	金 (午後)	土 (午前)
内科		リウマチ・ 膠原病		甲状腺・ 糖尿病	リウマチ・ 膠原病	
消化器科					消化器	
循環器科			心臓			
外科		大腸・肛門				
胸部外科		乳 腺				
整形外科		股関節 (第1・第2) 形成外科 (第2) 午後の外科 (第4)			腰椎 (第1・第3)	神経 (第2)
産婦人科	不妊		母親学級			
皮膚科	凍結療法	凍結療法	凍結療法 光線	凍結療法		
小児科		*心理 未熟児 *神経 (第3)	*内分泌 (第3) 喘息・腎臓 **心臓 (第2)	心臓 (第4) **心臓 (第2)		
眼科		未熟児 網膜症		弱視・斜視		
耳鼻咽喉科		アレルギー			めまい	

詳細については、担当の外来へお問い合わせください。(電話 0428-22-3191)

(註) *午前および”午後 **午前のみ
 ** 3ヶ月に1回 ***午前および”午後 3ヶ月に2回

福生病院外来診療表

平成2年4月1日現在

科別		曜日	月	火	水	木	金	土
内科	午前		井 齊 中 沢 藤 (-) 元	大 島 久 保 田	大 関 久 保 本	島 尾 伊 田 形 藤	井 内 島 沢 藤 田	大 酒 久 保 卷
	午後		再診及び 健診 島 田	呼吸器 松 葉		カンファ レンス 14:00~ 15:00	神経科 江 本 膠原病 佐 藤	
外科			辛	諸 角	辛	豊 泉	藤 田	諸 角
	内視鏡			藤 田		諸 角	藤 田	諸 角
脳外科				中 川		中 川		中 川
泌尿器科			斉藤(史)	石 黒	石 黒	休 診 (手術日)	石 黒	石 黒
整形外科			柴 崎	長 山	柴 崎	長 山	桜 田	村 山
皮膚科	午前		田 中	田 中	早 川	平 川	田 中	田 中
	午後		子供体来 凍結外来	手 術 日			手 術 日	
眼 科			八 尾	午前 休診 (手術日)	八 尾	八 尾	八 尾	八 尾
				午後 道又 (コンタクト)				
耳鼻			吉 田	向 井	吉 田	遠 藤	吉 田	吉 田
咽喉科	専門		補聴器外来 大和田		補聴器外来 大和田	手術 富田 吉田	補聴器外来 大和田	
小児科	午前		田 口	斉 藤 (譲)	第山 第川 1. 2. 3.登 4.瀬	園 田	斉 藤 (譲)	松 山
	午後		予防注射 (但、第3週 は休)松 山	腎外来 (第2・4週) 本 田		乳児検診		
婦人科			鈴 木	鈴 木	正 木	高 山	小 島	鈴 木
産科			小 島	高 山	小 島	松 原	鈴 木	小 島
歯科			曾	林	曾	曾	曾	曾

内科では特別外来として、呼吸器（主に肺結核）及び膠原病を取扱っております。

外科では内視鏡検査が毎日行われるようにする予定です。皮膚科の子供外来は、通園、通学のため午前中受診出来ない人のために関

いております。又、疣贅（いぼ）の治療のため凍結外来を行っております。

大学よりの派遣医師が、6月以降もありませんので、担当表も多少変更があります。

（大久保憲二 記）

公立阿伎留病院外来部門診療日程表

平成2年4月16日

	月	火	水	木	金	土
内科	藤 卷 佐 野 江 本	平 沼 佐 野 高 村	西成田 松 山 藤 林	平 沼 坂 元 藤 林	早 川 江 本 原	平 沼 松 山 高 村
専門外来 (午後)		呼吸器 (平沼) 糖尿病 (高村)	血液・膠原病 (西成田) 消化器 (藤 林)	循環器 (坂元) 喘息 (佐野)	糖尿病 (高村) 神経内科 (原)	新患担当
小児科	岩 本 関	正 木 岩 本	正 木 岩 本	正 木 村 上	正 木 岩 本	正 木 岩 本
		脳波・麻診	乳児検診	血 液	脳 波	
外 科	松 本 藤 田	泰	藤 田	藤 田	松 本 泰	勝 田
整形外科	木 内 古 屋	佐 野 2・4週 鳥 山 1・3・5週 古 屋	古 屋 鳥 山	木 内 古 屋	木 内 鳥 山	木 内 鳥 山
脳外科	前 村	本間・前村	前 村	塩貝or門脇	前 村	小西・前村
皮膚科 (午後診)	甲 原 予約検査	甲 原 予約検査	甲 原 凍結療法 (予約)	甲 原	小 林	甲 原
泌尿器科	朝 岡	朝 岡	朝 岡	朝 岡	朝 岡	
産婦人科	森 田 斎 藤	森 田 斎 藤	森 田 斎 藤	森 田 岩 井	斎 藤 岩 井	森 田 斎 藤
眼 科	林 小 林 予約検査	藤原・林 小林(手術) コンタクト 定 検	林 小 林 予約検査	林 小林(手術) 予約検査	林 小 林 蛍光眼底 検査予約	林 小 林
耳鼻咽喉科	一 川 長 田 アレルギー 外 来	一 川 若 山 聴 検	一 川 長 田	嵐 長 山	一 川 長 田	一 川 長 田
歯 科	谷 内		津 田		内 川	

※午後診療は予約を要します。

昨年の平成元年には病院の増設に伴って、かねてからの計画である種々診療機能の拡充が漸次図られている。

泌尿器科が4月、皮膚科が6月、脳外科が11月それぞれ常設された。

また7月に入院患者のみを対象に開設した歯科の診療を、9月には患者の利用率や要望等から予約による一般外来を実施するに至っており、現在は月、水、金曜日の非常勤で対応しているが、近々常設の予定となっている。

人間ドックは7月開設である。一泊二日の入院が月、水曜と退院が火、木曜の日程で実施しており小規模ながら利用状況も良く、日の出町では5月から住民を対象にした当院でのドック検診の予算計上がされている。

土曜休診に関してはいろいろの場で議論され試行されている。

4週6休の中で患者の予約制や医師の当番制などの施策はされているものの完全な休診には至っていないのが現状であり、また完全な実施は不可能に近い。むしろ企業の土曜休暇から土曜に患者が集中する傾向が強くなり、内科では暫定的な対応策であるが、土曜日のみ新患外来を増設し円滑な診療と待ち時間の短縮に努めている。

このようなことから土曜の外来診療に関しては今後の大きな検討課題である。

周知のように4月に当院の伝染病棟が青梅市立総合病院に統廃合されたのをうけ、既存棟の一般病床への転用が始まり、計画では平

成3年4月完成予定である。成人内科病棟と呼称し、ベット数49床の一看護単位の看護体制で慢性的な成人内科疾患を対象としている。それに引き続き本館2階東側の透析室への改修となり、これは平成3年10月開設の予定である。

成人内科病棟開設の中で特筆すべきは、一部開放病床を取り入れていることでもあります。

今年から始まった当医師会の登録医制度と相俟って、密接な病診連携につながるものと期待しておりますし、また効率的良質の医療の提供と互いの生涯教育の面からも、大変利あるものと考えております。

今後、実施にあたっては先生方と充分な協議が必要かと思っておりますので、その際は何卒ご協力、ご指導の程宜しくお願い致します。

(文責 平沼 俊)

「新旧役員歓送迎会」

久しぶりの初夏を思わせる陽気の5月15日夕刻、福生市の幸楽園において、恒例の西多摩医師会新旧役員歓送迎会が行われた。西村会長のもとで旧2期と新3期目の役員が、顔を合わせての慰労と激励の宴でした。林理事の司会で、西村会長の挨拶に始まり、土田副議長の乾杯の音頭と続き、前期で退任された大塚前副会長、湯川、秋山前理事、波田野前副議長の所懐表明から、更には今期新しい顔触れとなった桂木監事、小林副議長、田代理事、遅れて参集の稲垣、明田川理事の挨拶と続いた。その後、宴は、出された料理と酒を頂き、和やかに進行し、松原副会長の閉会の辞で散会した。

席上をふり返ってみれば、医師会活動が初めての筆者は、西村会長の「医師会には気にならない事もあるかもしれませんが、それなりにある良い伝統を生かして行こう。」という言葉や、病氣平癒なされたが惜しくも退任

された大塚副会長の「3代の会長のもとで10年間働かせて頂いたが、自分は医師会の精神安定剤の様な存在であった。」との所懐を聞き、また、松原副会長の「医師集団は没落業種であるが、少しでもその歯止めになる医師会にしよう。」という言葉などを肝に銘し、トランクリザー持参で頑張ろうなどと、酔いにまかせて思うのでした。

文責 田代 洋

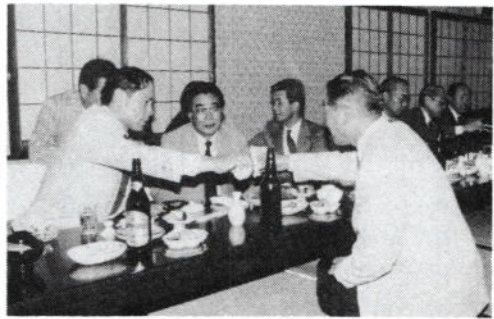
当日出席者 25名 (敬称略)

西村 邦康	松原 貞一	足立 卓三
明田川修生	石井 好明	稲垣壮太郎
大塚 栄二	大堀 洋一	唐橋 善雄
木村 隆	進藤 淳	田代 洋
林 実	真鍋 勉	道又 正達
宮川 栄次	内山 大	桂木 真
古屋慶之助	小林 康光	土田 守一

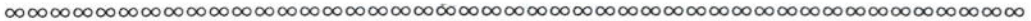
(以上新役員 21名)

大塚 渉 湯川 文朗 秋山 静夫

波田野洋夫(以上旧役員4名)



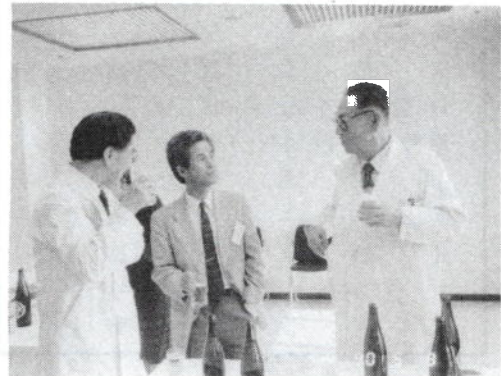
歓送迎会スナップ



福生病院登録医連絡会レポート

去る5月8日(火)午後3時、福生病院新館会議室にて病院側内科、小児科、外科、脳外科各スタッフと我々登録医にとって懸案である病診連携の具体的な運営について懇談の機会を得ました。席上、大久保憲二院長先生の『折角この制度を発足させるのであれば、名実ともにしっかりしたものにした』と冒頭の力強いスピーチ、宮川学術部長の司会進

行によって出席者の自己紹介、医師会サイドの病診連携制度に対する今迄の経過説明(松原副会長、大嶽経理部長、林総務部長からそれぞれの立場から)、塩沢先生の福研登録医制度紹介、池田先生の院内研修ハウ・ツウ談話でのユーモラスなシーンも飛びだしたり、大筋で今回は次の2点の取り決めに致したものと解釈します。



- 1) 登録医より委員を何名か選出すること
 - 2) 内科の医局人事が6月決定後、登録医との会合を持つ
- 連絡会終了後、隣室にて病院側のご好意に

より心暖まる席を過ごさせて頂きました事を感謝いたします。

以下 登録医名簿(当日出席者○印)

医療機関	氏名
東 医 院	東 吉 男
稲 垣 整 形 外 科	稲 垣 壯 太 郎
真鍋クリニック押切眼科	押 切 勝
○医療法人社団大聖病院	宮 川 栄 次
"	荒 井 康 温
"	浜 田 洋 二
"	藤 田 洋 一
"	宮 川 翠 子
"	海老澤 和 子
上 田 医 院	上 田 登 代 一
江 藤 病 院	安 富 一 夫
川 辺 医 院	川 辺 隆 道
○六 野 村 医 院	木 野 村 幸 彦
栗原内科整形外科医院	栗 原 琢 磨
○国民健康保険檜原診療所	内 田 萬 次
栄 町 診 療 所	川 口 卓 治
○塩 澤 医 院	塩 澤 三 朗
鈴木産婦人科内科クリニック	鈴 木 穆
瀬 戸 岡 医 院	瀬 戸 岡 俊 一 郎
○高 沢 病 院	高 沢 勤
○田 代 医 院	田 代 洋
堤 医 院	堤 次 雄
長 岡 診 療 所	波 田 野 洋 夫
西 村 医 院	西 村 邦 康
福 生 ク リ ニ ッ ク	玉 木 一 弘
○福 生 産 婦 人 科 外 科 医 院	池 田 聖
○福 生 団 地 診 療 所	林 実
○松 原 内 科 医 院	松 原 貞 一
○道 又 医 院	道 又 正 達
○宮 地 医 院	宮 地 誠
森 整 形 外 科 医 院	森 和 胤
森 整 形 外 科 羽 村 分 院	原 重 幸
山 田 医 院	山 田 正 哉
横 田 ク リ ニ ッ ク	横 田 卓 史
○島 田 医 院	島 田 芳 明
栄 町 診 療 所	関 谷 進 一 郎
内 野 医 院	内 野 正 作

医療機関	氏名
○大 嶽 医 院	大 嶽 栄 二
大 塚 内 科	大 塚 涉
○青 梅 慶 友 病 院	中 本 捨
"	井 田 真 司
"	谷 津 一 弘
"	酒 井 淳
"	堀 順 博
"	岩 田 俊 博
○小 澤 院 院	小 澤 町 江
坂 本 医 院	坂 本 保 彦
下 奥 多 摩 医 院	小 澤 昌 彦
"	古 味 隆 子
"	道 仏 晶 子
○滝 浦 医 院	滝 浦 復 平
西 東 京 病 院	中 村 敬 一 子
"	中 林 厚 子
葉 山 医 院	葉 山 侃 隆
"	葉 山 隆 勉
福 生 中 央 医 院	今 里 勉
館野婦人科皮膚科 クリニック	館 野 進



文芸随筆その他諸事百般

専門を学ばずとも楽しんで向きよ	既に学ばずとも定めた	情報充満の専門外も及ぶ	生涯教育の内容盛り込ま	全世界東南アジアは依然砲火止まる	西欧やパナマの戦雲も霧散すぬかに	今年宇宙の大気降雹局変動かも	麦秋の季節となるも麦畑もきかず	初夏を迎え遠山緑深まりそけく	水無月 小泉新策
-----------------	------------	-------------	-------------	------------------	------------------	----------------	-----------------	----------------	----------

文芸随筆その他諸事百般について

このコラムは、今迄の文芸・随筆欄をより拡大して広い分野の軟らかな記事を継続掲載して会報に彩りを添えることを狙いとします。ご投稿を首を長くしてお待ちいたしますが、執拗にご無理をお願いしますとことがありますので紙面充実のためご協力の程を……。

さて、今回は『釜めし・なかい』気軽に少し遅めの昼飯などに宜しいかと思えます。ドライブがてらなら青梅より30分程度、日頃の運動不足には電車で川井駅下車徒歩1.7キロいづれでも矢印つきの割合大きめの看板が眼に入ります。水香園手前右折して、人家のない杉林の一本道なので迷いようがありません。大丹波川虹鱒釣場とはほぼ対面の所です。日曜は多少混雑が予想されますから、ウィーク・デー（木曜定休）がよいと思えます。ちょっと立ち読みした案内誌には、いろいろあって縁側があって思わず足を伸ばしちゃうとありましたが、中高年の方々が子供時代に起居し

たような懐かしい^{たぐざい}行の店で、入口には一間幅くらいの暖簾がさがって土間となっています。料理は地元の天然わさび、川魚、山菜などが中心で、ちなみに釜めし・スープ・味噌汁・刺身こんにゃくのセット（1,200円）が人気のようです。また釜めしの具は山菜、きのこ、ウナギ、秋には栗もあるそうです。いづれにしても素朴な味が楽しめ、食事をともにしても苦にならぬ異性とでも出掛けてみたらいかがですか？モンペ姿で料理を運ぶお姉さんを眺めながら、わさびの石ずりを舌にのせビールを喉に流し込むのも一興かとも思います。営業時間午前11時～午後7時

電話 0428(85)1345

編集委員 みちまた

『医療協』開か る

○「医療協」が5月18日行なわれた。
西多摩地区医療保健衛生協議会「医療協」が5月18日、青梅健康センターで行なわれた。出席者は医師会側委員7名と9市町村の担当課長9名で、初めて松原貞一西多摩医師会副会長を委員長に選出し、MMRワクチン接種

とインフルエンザ予防接種の接種率低下について検討された。

又、「医療協」の会則が明確でないので、会則を整備すること、今後春秋の年2回会議を行なうことなどが取決められた。

(文責 大堀 洋一)

ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJK

ブロックだより (羽村)

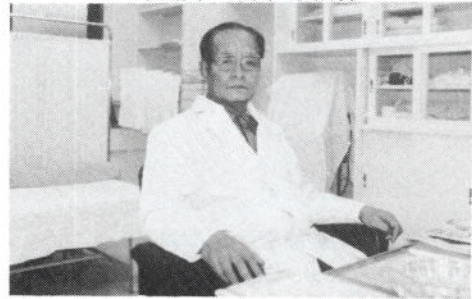
宮地先生 剣道日本クラブ会長に！

医師剣師で高名な羽村の宮地先生が、此度国際社会人剣道日本クラブの5代目会長に就任された。同クラブはいわば剣道のロータリークラブとも言うべきもので昭和40年9月発足、支部(地区クラブ)は北海道、東北、関東、近畿、九州、沖縄にあり、会員数は450名。

宮地先生は大正9年9月22日生の69才。そのかくしゃくたる姿は武道、医道両面において異彩を放つ。西多摩医師会の誇りとして

益々の御活躍をお祈りしたい。

(文責 写真 真鍋)



クラブ紹介

— 新部紹介 その1 —

〈写真部〉

年2回を目標として開催を続けている写真展も今回で5回を迎え、会員を始め保健所行政その他知人、友人二百数十人のお出でを頂き、賑やかに幕を閉じることが出来ました。今回の出品者

近藤 肇・近藤友好・山田正哉・鹿野純一・小林康光ご夫妻・波田野洋夫・三枝襄二・稲垣壮太郎・真鍋 勉・松原貞一・青梅市立総合病院内科坂本保巳・福生病院婦人科正木 弘の各先生

の他賛助出品として福生保健所長木下文雄先生・前医師会事務長原田広吉氏。写真部の展覧会は、写真の芸術性を追求するもの外、子供や孫のほほえましい動き、旅の行きづりにシャッターを押したものの、庭の

雑草に心が動いたもの等々会員の生活の匂いの漂うものであれば、何でも大歓迎。堅いことは言わず、楽しくやっています。11月に第6回を予定しています。会員の方、家族の方少し大きく伸して面白そうな写真がありましたら、どしどしご出品して下さい。

(松原)



新入会員紹介

セザイ皮フ科クリニック

瀬在由美子

昨年12月に福生市にて皮膚科を開業いたしました瀬在でございます。以下自己紹介させていただきます。

昭和32年に静岡県熱海市で生まれ、神奈川県立小田原高校卒業後、昭和51年に日本大学に入学いたしました。昭和57年同大学卒業、同大学皮膚科学教室にお世話になり、学位取得後、J R東京総合病院（旧中央鉄道病院）に勤務し、皮膚科医長を経て今日に至りました。

私は、子供の頃から、父親が開業医であったためか開業医となることが夢でした。今回



の開業にあたっては、初め主人（現在東京警察病院内科勤務）の反対もありましたが、諸先生方の温い御指導、御鞭撻のお陰でここまでこぎつけることができました。まだまだ未熟な私ですが、今後とも何卒よろしく願いいたします。



医師会日誌

医療機関数	171	診療所	146
		病院	25
会員数	308	A会員	154
		B "	154

役員出張	
5月18日	都医会長会
"	三多摩会長会
25日	三多摩広報研究会

会議

- 5月2日 会計監査会
- 8日 理事会
- 14日 救急業務連絡協議会
- 15日 新旧役員懇談会
- 17日 都衛生局と多摩がんセンターについての打合せ会
- 18日 医療協
- 21日 会報委員会
- 22日 理事会
- 23日 臨時総会

講演会・その他

- 5月8日 整備会
- 9日 法律相談
- 28日 春の交通安全運転者講習会
- 29日 生保指導

会員通知

- 2年第1期会費の納入について
- 臨時総会開催案内
- 保険医及び保険薬剤師の使用薬品の全面改正について
- 「**医療**、事務手数料及び介助手数料の変更について」差し替え
- 生活保護法の医療扶助に係わる東京都特別援護事業補助要綱等の一部改正について
- 健康保険診療報酬点数表等の改正に伴う公害診療報酬の取扱いについて
- 会報
- 春の交通安全運転者講習会案内
- 日本医師会第22回産業医学講習会の開催について

新入会員

氏名 藤巻 延吉 S 13. 1. 15 生

— 表紙の言葉 —

予定では秋川の近藤友好先生の芸術的な写真が載るはずでしたが、カラー版のため（今期より4回～6回程度に増す予定です）小生のミスで時間が足らず次号（7月号）になってしまいました。このため6月号は取り合えずこのような平凡な写真となりましたことお詫び致します。（真鍋）

あ と が き に か え て

西村体制が3期目を迎え、その集大成とも言うべき重要な時期に会報の編集責任者という大役を任命され、正直言って微力な小生には重荷以外の何ものでもありませんでしたが会員の先生方に編集委員をお願いする中で、心よく承諾していただいた多くの先生方にかえって励まされている内、本人もどうやらその気になって参りました。この2年間、私なりに多士済々な編集委員の先生方の御助力を頂きながら責務を全うするつもりであります故、会員の諸先生よろしくお願い致します。

さて、御承知の様に会報は前期より公報部に属しておりますので、編集の基本方針は、大嶽前委員長時代と大差なく、その路線を継承して行こうと考えております。つまりは会報は公報として理事会報告を中心とした機関誌的役割を持つ一方、会報として広く会員の先生方の建設的御意見を頂きながら執行部と会員とのパイプ役としての側面を持ち続けたと思っています。

しかしながら兎にも角にもまずは会員の先生方に会報を手にとっていただかねば全ては始まりません。どうすれば、会報を手にし、かつ読んでいただけるかという問題は歴代の編集責任者が常に苦慮されてこられたと思います。私とて特にこれといった妙案がある訳ではありませんが、今期は次のような事を強調してみたいと思います。

1. 表紙は会員の先生の作品から
今期より写真部と絵画部が部として承認されましたので、これらの部の作品を中心として表紙作製。
2. 医師会は学術団体である、との立場から会員の先生方の学術的論文を出来だけ掲載する。
3. 西多摩には多才、多趣味な先生が沢山いらっしゃいますので、その方面の原稿を多く載せるため、会報委員にも専任者を置く。
4. 誌上における病診連携の具体例として3公立病院だよりを復活させ、夫々の病院のフレッシュなニュースを提供していただく。以上取り合えずこのような点から始めてみたいと思っております。

理事で会報担当のベテラン道又先生の言葉に「会報は医師会の顔」という名言がありますが、少しでも「いい顔」になるよう努力致しますので、会員の先生方の御指導、御協力を心よりお願い申し上げます。

真鍋 勉

平成2年6月1日発行

発行所 (社)西多摩医師会

東京都青梅市西分3-103
TEL (0428)23-2171(代)

会報編集委員 真鍋 勉

石井好明	小机敏昭	小林杏一
田代 洋	玉木一弘	堀田洋夫
道又正達	百瀬真一郎	渡辺良友

くらしの知恵と情報を

ホームバンクの埼玉銀行



埼玉銀行

青梅支店 (TEL 0428-22-1101)

東青梅支店 (TEL 0428-22-2121)

青梅支店
奥多摩特別出張所 (TEL 0428-83-2515)

福生支店 (TEL 0425-51-1021)

村山支店 (TEL 0425-61-1211)

五日市支店 (TEL 0425-95-1311)

河辺支店 (TEL 0428-24-2401)

秋川支店 (TEL 0425-58-2611)

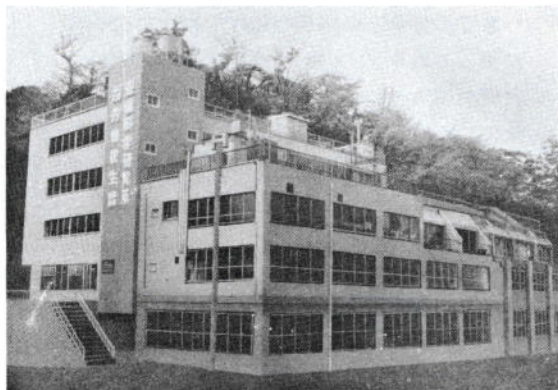
臨床検査センターの雄 保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町106

電話 045 (333) 1661 (大代表)

八王子市子安町4-10-10

電話 0426 (26) 2203・2204



○総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。

○完全オンラインシステム化を実現致しました。(データ通信システム)

○関係医療機関 約 3,500ヶ所

○広範囲な検査内容

- 内分秘学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査
- 病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査

！都川県の御得意先を毎日定期的に集配致します。御一報を御待ち致しています。